

令和6年
7月

北文化小劇場 催し物ご案内

| 開催日 | 催事名 | 開演 | 終演 | 問い合わせ先 | 入場料 |
|------------|---------------------------------------|------------------|------------------|---|------------------------|
| 14日 (日) | 舞い舞いナゴヤ2024 —終わらない悲しみ！ 私たちは「今」— | ①15:30 ②18:30 | ①17:00 ②20:00 | 核兵器廃絶・平和を 守る名古屋舞台人の 集い 090-1230-0307(玉田) | 全自由席 3,000円 (前売・当日) |

* 非公開の催し物や練習でのご利用等のため掲載のない催し物もございます。予めご了承ください。
* 催し物の時間、内容等が変更になる場合がございます。

北文化小劇場 施設利用のご案内

演奏会や舞踊会など幅広い公演にご利用いただけますので、お気軽にお問い合わせください。



ホール



練習室

ホール見学&各種相談承ります！

- ◆客席数 297席(椅子席237・樹席60)
- ◆舞台 間口14.5m 高さ6.0m 奥行8.2m
- ◆楽屋 2室
- ◆練習室 1室(45㎡)
- ◆駐車場 37台(図書館共用)

ホール競合受付・練習室単独利用受付のご案内

ホールは文化活動でのご利用の場合、使用する月の1年前からお申し込みが可能です。
練習室単独でのご利用の場合、使用する月の2ヶ月前からお申し込みが可能です。

- 受付時間/9:00~20:00(休館日を除く)
- 休館日/月曜日(祝休日の場合はその直後の平日)

| ホール競合受付 | |
|-----------|---------------------|
| 利用月 | 受付期間 |
| 2025年 7月分 | 2024年 7月1日(土)~5日(水) |
| 2025年 8月分 | 2024年 8月1日(火)~5日(土) |
| 2025年 9月分 | 2024年 9月1日(金)~5日(火) |

| 練習室単独利用受付 | |
|-----------|----------------|
| 利用月 | 受付開始 |
| 2024年 9月分 | 2024年 7月1日(土)~ |
| 2024年10月分 | 2024年 8月1日(火)~ |
| 2024年11月分 | 2024年 9月1日(金)~ |

公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 [北文化小劇場]

お問い合わせ
TEL 052-910-3366 FAX 052-910-3367

アクセス
名古屋市北区志賀町4丁目60-31
地下鉄名城線「黒川」下車4番出口から北へ徒歩12分

快適以上を、世の中へ。



広告募集中！

1枠50,000円/年(HPバナー掲載有)
ご希望の方は北文化小劇場まで
TEL 052-910-3366

名古屋市北文化小劇場情報紙

2024

北文化小劇場だより 7月

朝のひと時をジャズとともに



Topics

- 出演者インタビュー
日本語で魅せるJAZZ&POPS 〈ハマノユリナ&伊藤寛哲〉
- 伝統文化アドバイザーエッセイ

総合建設業
株式会社 原田工務店
052-901-3210

KAWAI
NAGOYA
052-962-3939

清瀬 金虎
052-981-3960



お料理・仕出し・うなぎ
魚鉄
052-911-1211

いま話題の人をご紹介

スポットライト
Spot Light

「日本語でも伝わるJAZZの名曲の素晴らしさを

相反するジャンルが化学反応したデュオによる演奏で」

休日の朝からジャズを楽しむことができるモーニングコンサート。
昨年に引き続き出演されるハマノユリナさん・伊藤寛哲さんにお話をお伺いしました。



ハマノユリナ & 伊藤寛哲

歌で魅せるクラシックギターデュオ。ハマノユリナの民謡をベースとする歌声と、ジャズギタリスト伊藤寛哲が奏でるギター表現力は、どこか懐かしさを感じ、繊細ながらも力強さがあると多くの人々を魅了している。

公演情報

日本語で魅せるJAZZ&POPS

日時：令和6年8月10日(土) 10:30開演
会場：北文化小劇場ホール
料金：一般 1,500円
友の会・障がい者等 1,300円
※未就学児入場不可
出演：ハマノユリナ、伊藤寛哲
曲目：Tennessee Waltz, Over the Rainbow, Lullaby of Birdland ほか
発売日：令和6年6月26日(水)9:00～
※市内各文化小劇場および電子チケットteketにて発売

電子チケットはこちらから →



—どんな活動をされていますか。

主に東京、名古屋、大阪、福岡のカフェ、ライブハウスやホール等で演奏しています。またツアーでそれ以外の全国様々な地域に出向いて演奏することが多く、今年は海外公演としてヨーロッパツアーやタイツアーも決まっています。演奏スタイルは民謡とJAZZを織り交ぜたワールドミュージックです。

—活動を始めたきっかけは何でしょうか。

デュオの活動はとあるイベントで共演する機会があったのがきっかけです。相反するジャンルが化学反応したのが新鮮に感じられ、お客様からの称賛の声もいただきその後ユニットを組む形となりました。

—前回出演されていかがでしたか。

去年初めて出演した「モーニングジャズ」で日本語で歌うJAZZやオリジナルソングが受け入れてもらえるか不安でしたが大勢のお客様にご来場していただき、また嬉しいお言葉をたくさんいただいたことが音楽に垣根はないと感じさせてくれました。響きも美しく、素晴らしいホールだと思います。

—今回の公演の見どころを教えてください。

日本語でも伝わるJAZZの名曲の素晴らしさと、前回になかったソロギターによる楽曲やどこか懐かしさを感じるオリジナルソング等もぜひお楽しみください。

—来場者の方へメッセージをお願いします！

今回も朝の公演となりますが、一日が穏やかで心温まる気持ちでスタートできますように演奏させていただきます。たくさんのご来場をお待ちしています。



昨年の様子



伝統文化アドバイザー 連載エッセイ

和太鼓の力～Part3～

(前回の続きとなります)

当時、もちろんプロではないので、建築の仕事に兼ね合いをつけながら厳しい練習が続きました。歩を重ねるごとにみんなの顔つきも体つきも変わってきます。曲もだんだんと仕上がってくる、しかし仕上がりに近づくほど欲が生まれ、もう一つ上のステップに上がりたい。

するとそのレベルについてこれないメンバーも出てくるわけですが、ほかのメンバーがそれをフォローし、居残り練習に自主的に付き合ったり、別日に別の場所で練習を重ねたり。111人がいよいよ一つのチームになってきました。

そうなったころ、いよいよ揃いの衣装が出来上がり、ナゴヤドーム（現バンテンドームナゴヤ）を想定したりハーサルを別会場で行うと、イベントの運営担当たちが我々の様子を見て驚嘆の声を上げ始めます。

はじめは喧嘩が始まるほどの嫌な空気だったメンバーが、今いよいよナゴヤドームめざして大きな力強い軍団になりました。その太鼓の音量は尋常でなく、打ち手の勢いはとどまるところを知らず、ただただ周りを圧倒する演奏力に感動すら覚えたと言ってくれました。我々にとってスタッフの言葉はさらに追い風になり、体も心も準備が整い、あとはナゴヤドームでの演奏を待つのみとなりました。

1998年11月14日、いよいよ当日です。

ドームに集まった観客は3万人、我々以外の演目は20演目で出演者・運営スタッフ併せて2,500人とまさにビッグイベントです。順調に演目は進んで、いよいよファイナルとなり、我々の和太鼓演奏の出番です。ナゴヤドームの中にさらに直径200mの小型のドームを組み、その中にギュッと太鼓と太鼓打ちが隠れています。

メンバーは皆、この日を迎えるのに様々な試練を乗り越えてきました。中にはこの段階で感極まり涙を流し声を押し殺している者もいます。それぞれがそれぞれの思いを胸にこの舞台に集まりました。しかし、全員がこの後のたった7分にすべてをかけるという同じ決意で出番を待ちます。

トリの演目が終わり照明が変わった瞬間、ゆっくりとそのドームが大きな真珠貝がゆっくりと口を開けるが如く開いていきます…

(次回へ続きます)



転輪太鼓グループ代表
國分入道光雲先生

1998年転輪太鼓を創設。和太鼓に「武道」を融合させることで、和太鼓独特の力強さを、理合の動きからは様式美を醸し出し、さらに「祭」との融合により「万物への感謝」「艶やかさ」「喜怒哀楽」を創り上げる。和太鼓の演奏力もさる事ながら、歌唱力・MCにも定評がありその容姿と人間性のギャップをキャラクターに、「歌って、喋れる和太鼓会の格闘家」として業界では浸透しつつある。

伝統文化アドバイザー相談窓口

- ・興味はあるけど、どうやって始めたらいいの？
 - ・伝統文化についてもっと詳しく知りたい
- そんな相談にアドバイザーがお答えします！

お問合せはこちらから →



【伝統文化アドバイザー】
石田巳賀氏(華道)、加藤条山氏(尺八)
國分入道光雲氏(和太鼓)、華房小真氏(端唄)

事業 レポート

6/13(木) みる・まなぶ・ダンス！

楠西幼稚園にてコンテンポラリーダンス講師のHIRO先生を迎え、年長児を対象に「みる・まなぶ・ダンス」のワークショップを行いました。「ブロッコリー」「中国」「ブルーハワイ」など、子どもたちが思いついた言葉からイメージを膨らませた動きを組み合わせ、1つの作品を作り上げていきます。子どもたちの自由な発想から生まれる動きはバラエティ豊かで、自分たちの意見が取り入れられることでさらに積極的に意見が飛び出し、素敵な作品ができあがりました。

終了後も動きを楽しむ姿が見られたとのことで、この時期にダンスに触れる機会を作る大切さを感じられました。次回もさらにパワーアップした作品ができることを期待しています！

